川口町公民館報
公民館報
第25号
編集人　関　平吉
発行人　真島五郎
印刷所　山勝堂印刷所

上川地区土地改良事業承認なる

—今月中に着工か—

昨年暮以来町当局及び上川地区土地改良区設立準備委員会で計画を進めてきた、積雪寒冷単作地帯振興対策臨時措置法による、かんがい排水及び開田事業として、上川地区一三七町歩かんがい事業が農林省金沢農地事務局の承認がなり、県よりその通知があり近く本年度事業に着手の運びとなつた。

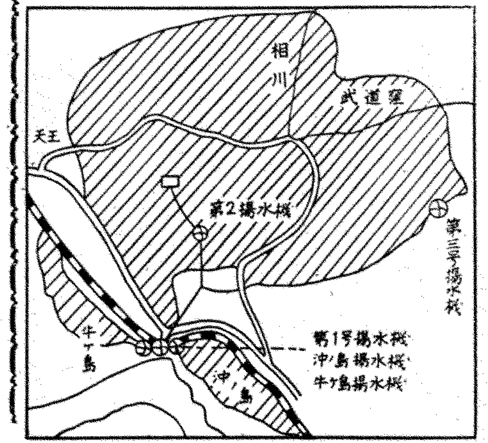
本事業は継続事業で、昭和三十二年度から、昭和三十五年に亘り施行されるものである。

承認事業内訳は次の通りである。

総事業費　四七、〇〇〇千円
主要工事
　揚水機　五台
　用水路　三三、三〇六米
受益面積　一三七町
　開田面積　一〇三町
　用水補給　三四町
増加生産量　米二、八一九石

なお、本年度の事業費は、六、六九六千円で、大字牛ヶ島地内の第一号揚水機場を工事施行する予定である。

この事業達成の暁は上川地区は現在の米生産量は約三倍近くになり、国に売渡出来る量は一〇倍近くなるのではないかと大きく期待され、同地区の営農方針も相当に変つて来ることが考えられよう。



町制施行記念アンケート

あなたが「一日町長」になつて思いきつた政策を発表して下さい

一、産業経済を発展させる為の助長策
二、文化教育の進展策
三、その他こうやつてみたいという政策

佐藤万平

一、石油精油所を設置し化学工業を発展させる。
二、学校統合による大学校を建設し、教育内容を改善する。
三、大スキー場を建設し、上越線沿線屈指のスキーのパラダイスを築く。

覚張久明

一、人工衛生的ズルハーミン剤を放つて暗い負債ガンを一掃する。
二、学区の編成変を断行し、忘れつゝある産業教育の振興を計る。
三、林業と牧野改良を盛んにし、残余を開墾に尽力し、耕地の拡大を計る。
四、サイレンを設置して、野原で働く人も家庭に作業する人も通学通勤者も行動を起し易く作業能率を揚げる

佐藤凡生

一、農協の育成、即ち純農村たるべき為に、第二重工業の誘致。
二、公民館の活動により町民の知識の一般的向上を計る
三、川口町を中心とする経済圏の確立を計る。即ち飯山線の分岐点なる重要地点である。

野沢寛治

温泉（鉱泉）を作りスキー場及び娯楽場を団体か株式で造りたい。
一、人口の増加を計り、市街地計画を実施する。あらゆる道路を改修し、大通りは補装し流雪溝をつくりたい
二、独立した公民館を設置し社会教育を推進する。更に学校の内容を整備し、文化教育、オートメーション教育の基礎をつくりたい。特に中学校に於いて。
三、観光川口を打たてたい。

窪田テツ

一、工場誘致、家庭産業。
二、公民館活動に力を入れ、町民特に各団体に強く呼び掛け、文化系統の催を度々行う。
三、庁内及び職員の自粛。スキー場の完備と宣伝。

宮木喜一郎

一、只見水系の発電所を誘致し、その電力と田麦山の天然瓦斯を利用して、大化学工場を設置したい。
二、農、商、工総合の学校をせめて講習所でもつくる。
三、川口橋を中心に都市計画を推進し東部、西部の渾然一体の市街地をつくりたい川口町の中心を形成する。

内藤益郎

一、地元の石油を活用した大工場の誘致。
二、1、各家庭の出費を少くし、しかも教具が整備されている学校教育。
　2、老いも若きも生活を楽しめる健全なるレクの普及。
三、1、各専門医を持つ大病院の設置。
　2、道路の一大改修。

三年つづきの豊年の秋

知事賞も出る

待たるる町の文化祭

天高く収穫の秋、春からの努力とめぐまれた天候により本年も又大豊作が約束されている。

豊作の翌年は凶作だと云われた古来の云い伝いも見事にくつがいされて今年も、去年におとゝしにまけない豊作となつた。農業技術に凱歌が揚つたのだ、この秋に文化の日をトして町その他の関係で中学校に文化祭が行はれる、農産物品評会始め数々の催物がにぎやかに繰りひろげられるであろう、町をあげて一日を文化の日として過去の足あとを振り返り、明日への飛躍と来年度の増産への力強い足がかりの為に各種の催物が、皆様に有意義な希望をもたらすべく目下準備が進められている催物のおもなものは

農産物品評会

農家の方々が本年収穫物のうちこれこそは、わしの家の自慢になるイッ品じやと云うものを一戸一品を出し技術員普及員の審査をうけて発表し表彰される、本年は特に一等に限り知事よりの賞状が貰いるとのこと、次に町の青年協議会が皆様におくる

◇芸能コンクール

ドレスメーカー女学院特別提供の

◇婦人服装展

町、公民館で珍しいものは何んでも公開する

◇なんでも展

町のカメラマンのうでくらべ

◇写眞ケツ作展覧会

古流家元主催

◇生花大会

が川口東部宝積寺で行はれる等その他各種団体からいろいろ計画されているらしい。又田麦山会場では同じく「農産物品評会」と「新制中学校開校十週年記念祝賀式」が文化祭の前日田麦山中学校で行はれ

◇ピアノ開き学芸会

等は十一月三日に準備されている。

赤い羽根募金について

昨年十月行われました第十回〃赤い羽根〃共同募金運動につきましては、種々困難な状況の許に行われたにもかかわらず皆様の温い御支援、御協力を初めとしてこれを取扱う関係者の並々ならぬ御尽力によつて川口町の目標額を達成されたことわ真に感謝に堪えません。

この御好意あふれる浄財は皆様方の御意志を体し、県共同募金会の役員会において慎重審議の上、別記の通り県下の社会福祉事業に配分されたことを御報告申し上げます。

尚本年も昨年同様皆様方の温い社会事業を思う心におすがりし、先般連絡員（奉仕員）を通じてお願い申し上げましたところ、早速募金下さいました方々に対しましてわ厚く御礼申し上げると共に今後共宜しくお願い申し上げます。

記

一、共同募金の用途（県総額）
二、一九九万円
1、県単位団体＝盲人、聾啞、肢体福祉の会等（二七四万円）
2、郡市町村社協に対する配分金（一、二二八万円）
3、居宅援護費（一三三万円）生活保護家庭に年末百円を送る
4、季節、常設保育所助成費（三七一万円）
5、小地域社会福祉事業振興費（七〇万円）
6、その他緊急災害見舞金（一三四万円）

注　町村社協の配分金は町村内に於ける扶助費、あんまの無料サービスの経費、行路病人、無縁の死亡者の処理、身体障害者の検診の経費等に使用されその配分金はまたいろ〳〵川口町に返つて参ります。

二、募金額の算定について
県及郡の割当基準は人口割世帯割、所得割、平均割で算出されたもので、川口町が六九、六六五円の割当を受けた訳ですが、川口町でわ部落別割当を県及び郡の割当基準によらず川口町割当額を世帯数（生活保護世帯を除く）で除した数字が一戸当り四十七となつたのであります。（これは昨年と同額である）

十一月三日　文化の日の行事

文化祭（農産物品評会）

農産物品評会（田麦山は二日）
芸能コンクール
歌謡大会
写眞展覧会
中学校作品展
田麦山中学校生徒学芸会

川口中学校　川口会場
田麦山中学校　田麦山会場

川口町公民館　主催
川口分館　主管
なんでも展
会場　川口中学校

川口町公民館　主催
長岡ドレスメーカー女学院提供
婦人服装（作品）展
（スピード和服裁縫作品も陳列）
（改良作業衣、台所着も陳列）
会場　川口農協ホール

古流　生花展
会場　宝積寺

被害者の妻の投書と警察署の見解について

被害者の妻からの、切々たる投書が、郵便で配達されて来ました。われ〳〵法の素人から見れば、サギにでも引かゝつたような気がするが、これが、法的にどう解釈されるのか？警察署の見解とを併せて載せ、各位の自覚を望む次第である。

「被害者は訴える」

—投書—

皆様町になつておめでたうございます。川口が町になつてから駅前に東京の浅草にでもいるようなヤシの五目師がずつと出ています、そして毎日町民が二千円、五千円と石一つが千円とかでお金を取られているさうです。実は私の夫も汽車待時間に見物している内引つぱり込まれ三千円よこせと云われ持合せが無いといつたら見物にまぎつていた仲間らしい男からこわい目でにらまれ、しかたなく駅前通りの某店で借りて払つて来ました。山の中に住むしがないサラリーマンの一週間分の給料をおどかされてとられてしまつたのです。こんな事がサギ又はキョウハクとして罪にならないのでしようか、ケイサツもこんなものが取りしまりが出来ないわけがないと思いますが警察署の「五目師」にたいするお考えを発表して下さい。そして町民全部の力によつて追払つて下さい、お願いいたします。（貧乏の妻より）

街頭五目ならべについて

—回答—

川口町防犯協会
小千谷警察署

最近東小千谷、川口駅前等に街頭五目ならべが出るようになりました。

五目ならべのなかには、一目百円（四三三、禁手等というてその数倍の金を要求する）などという方外なものがあります。サクラを使つて客を寄せ、ためしにやつてみるなどとさそいかけ、あとで何千円も請求するものもあります。

五目ならべについて警察では、許可がなく道路で出店するものに対しては道路交通取締法の違反として取締りをし諸手のない出題は詐欺の疑いで取締りをしています。

警察官の顔をみては店を出すので、先日も川口で十七才の子供が三千円の教授料及研究料を請求され、お金がなかつたため腕時計をとられた例がありました。

こういう五目ならべには誘われても絶対に手を出さないよう、どこの御家庭でも御注意ください。

又個人の敷地、駅や公務所の構内、神社等ではそこの管理者の承諾がなければ出店することができないので、もしこういう者が来たら断るようにお願いします。

写眞説明　児童生徒の自然増により、教室不足になやんでいた木沢小学校は総工費310万円で校舎を105坪を増築すべく、去る八月七日着工、工事は予定通り進行し、現在は屋根工事を行つて居り、竣工も間近に迫つて居る、これが竣工のあかつきには旧二十村郷随一の大校舎が出来ると校区民は鼻高々で協力している。

公民館報編集について

村の新聞、村だより、公民館報等として名称は変つたが公民館の広報面を受けもつて発行を続けて参りました。

この度この広報活動を一段と飛躍させる為、今迄二ケ月に一回発行して来ましたものを毎月発行することになりました。原稿は毎月十四日までに公民館あてお送り下さい。原稿は原則としてお返し致しませんが、特に必要である方はその旨書いていただけば必ずお返し致します。各部落の話題やニュースをこの館報を通じて交換し連絡しあうよう御利用下さい。出来るだけかんたんにお願いします。

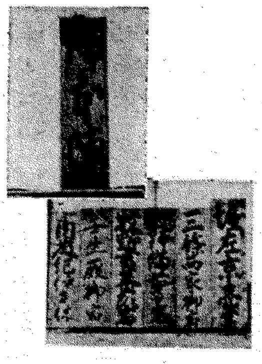
金紋さき箱の大名から、京の公卿さま、遊行上人

トウマルカゴ佐渡送りの役人頭などが夢の跡

中林宗衛先生に

本陣の話をきく

町の重要文化財ともいうべき貴重な本陣資料の中から



（写眞下は、大名宿札　上は常掲の本陣看板）

九月の町制記念号の「観光事業の一つとして本陣あとを顕彰せよ」との投書がとり上げられることになり、中林家を訪問、いろ〳〵お伺い致すことになりました。

前もつて教育長さんから電話がしてあつたので、通された応接間のテーブルには、今では全国的にも貴重な資料となつた、昔の帳面や下宿配置図などが一ぱい用意されてあります。これら本陣資料が長持で一杯保存されているなどたいへんなことで、早く重要文化財に指定をうけて保存を要するのではないか。などを思いながら上をあおぐと、長押の上に長さ三尺、巾八寸位の厚板に御家流と称する書体で、「牧野備前守宿」とか「堀丹後守休」などと書いたものがズラリと二十枚も並んでいます。これがいわゆる本陣札（一名大名宿札）というもの。たとえば、長岡の殿様が江戸お上りとなると、二、三日前に早馬でこの本陣札が三枚ずつ配られる。一枚はもちろん本陣門前に。他の二枚は宿場入口出口にかゝげたものであるという、これも珍らしい資料と思います。

本陣というのは、どういうことなのでしようか

本陣とは一軍の大将陣所即ち本営という意味でが、徳川三代家光の寛永十二年に定められた参勤交代（一年おきに大名が国元と江戸を往復する制度）以来、街道の宿場に設けられた大名その他特権階級の人達のための高級旅宿をいうのであつて、門、玄関、上段の間（他の部屋より一尺程高い座敷）を持つていることが、一般民家や宿屋と違う点でして、一宿場一軒が普通でした。

川口の本陣はどこの殿様が泊つたのでしようか

「先ず長岡（牧野）新発田（溝口）村上（内藤）そのほかです。

この辺では、妙見、堀之内浦佐、塩沢と大体鉄道の駅位の間隔に本陣があつたわけで、川口に一泊すれば次の宿所は塩沢、二居、須川、渋川本庄、鴻之巣、板橋と、こゝから七日間で江戸へ着いたわけです。」

殿様の他にどんな方が本陣に泊つたのですか

宿札をゆびさゝれながら「公卿の三条西家、壬生家、佐渡の金山奉行などですが、記録によれば、遊行上人が度々泊つています。それからお姫様の泊つた珍しい記録もあります。もつとも御年七才のお姫様ですがね。奥女中がずいぶん大勢ついています。

そのほかに、目カゴ（俗にトウマルカゴ）と呼ばれた乗り物で、重罪人が佐渡の金山に水替え人足として流される時、十挺も二十挺も一括護送されて来て、その役人頭が泊つています。罪人には、どんなに要求されても、握飯と塩と漬物等しか与えてはならないなどという通達の記録も残つています。なお東海道筋では勅使、宮門跡たちが利用しています。

殿様行列の一行というのは、どの位だつたのでしようか

「大体録高によつて定まつていたのです。」と、長いちようど冠婚葬祭の時貰物を記録したりする、あの式の帳面の開いたところを示されながら「文政六年五月二十七日、村上の堀丹後守泊の項に一行百四十三人とあります。本陣には大体二十人位、脇本陣（宝積寺）には家老職、その他の親役人供人達は、十八軒の下宿に分宿しています。戦前の演習の時に兵隊さんが民家に泊つたような具合でしよう。

× × ×

右のほか面白い珍らしいお話を沢山うかがいました。殿様の食事はお蕃きの料理職が材料持参でまかなつたものださうで、宿料というか茶代は一両（現在の約一万円）であつたさうであります。又、藩の指定であるだけに、文政三年に本陣座敷（別棟）を改築した際には、五十両の補助金を貰つているとか、川口の指定下宿二十八軒全部が東側にあるのは、洪水のためであつたなど、長持の中に一杯ある資料の中のお話、万分の一とても、いくら聞えてもきりがないが、夕食の頃でもあれ、失礼することにしました。

青年合宿講習会

盛大裡に終了

毎年川口小学校で行つて来た川口町青年合宿講習会は、八月二十四、五日の両日田麦山小学校を会場に開催した。教育庁中越出張所社会教育課の五十嵐主事を迎え、六十余名の受講生を得て講演、討論会、班会議、キャンプファイヤー等多催な日程を受講生は一生懸命に話合い、体験しあつて有意義にかつ盛大裡に終了した。

講習会も回を数えること四回、受講生もすでにその受講要領を学びその年々その成果を上げ、特に今回は会の運営に進歩がみられた。研究のテーマとして、「青年団の自主性を伸長するにはどうしたらよいか」と題する五十嵐先生の講義を聞き「団体役員の過重負担を如何にして是正するか」についてグループに別れて話合い、「青年団活動を阻害するものは何か」についてパネルデスカッションを行つた。夜はまづ晴な校庭にかがり火をたき、キャンプファイヤーを行いグループ別部落別の隠芸大会には、部落民も始めての行事を興味深く見入つていた。最后に綜合反省会を行い評価と反省で次回のための資料を残している。全員が一堂に会しての食事キャンプファイヤー、レクリエーション等により地域全般を通じて親睦と融和をはかることができ、講習会は青年にとつて欠くべからざる一大行事となつている。なお婦人会の親味ある協力には全員が感謝していた。

生活改善グループの体験発表

西川口中新田部落の生活改善グループが生活を豊かに明るくする為自分達のもつとも身近かなそして出来ることから実行してゆくその第一歩として食生活の改善をとりあげ味噌造りを実行しつつある。

この方法を小千谷北魚沼郡生活改良普及事務所の応援を得て先般新潟放送局より放送を行つた。その要旨と方法を来月号に登載します。

相川口内ケ巻停車場線着工

田麦山地域と内ケ巻駅を最短距離を結ぶ為に、この道路をつくることになり、総経費四六〇万円で八月一日に着工し、十二月までに完工の見込みである。

政府米の売渡し状況

政府に米を売渡すことを予約した数量二九五八石。このうち十月十六日現在で、八二六石となり、総体の二八％となる。

稲の赤枯病研究始める

昨年信濃川より機械揚水して、二十三町歩の開田を行つた。

上ノ原土地改良区では昨年、本年の稲作状況より見て、稲の根腐れによる赤枯れ病が開田地区に多く、一時は開田病と名付けていたが、これが研究に着手した。その第一着手として、土壌検査を行い、更に肥培管理、耕種状況等、細部的に検討すべく県農事試験場、地区改良普及事務所の応援を得て冬期間中に何らかの結論に達すべく努力が続けられている。

山ノ相川部落運動会

山ノ相川公民館主催、部落運動会は九月二十七日、晴天に恵まれてたのしく行われた。美人コンクールと老若男女学生合同民謡など、独想的なものが多くあつた。

★ ☆ ☆ ★

暴力犯罪みんなの力で無くしましょう（防犯週間）